

2020 年 11 月 24 日

各位

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

三菱重工業株式会社が発行するグリーンボンドの引受けについて

三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、三菱重工業株式会社（以下、三菱重工）が発行するグリーンボンド^①（5 年債、250 億円）の引受けにおいて事務主幹事及びグリーンボンド・ストラクチャリング・エージェンツ^②を務め、本日、同グリーンボンドが発行されましたことをお知らせします。

三菱重工は、三菱三綱領に基づき制定された社是の精神に則り、社業を通じて社会の進歩に貢献するものづくり企業として、社会・産業インフラを支える製品・技術を世界に提供し、地球規模の課題解決に貢献しています。

また、三菱重工グループは、気候変動対策の国際的な枠組みである「パリ協定」が長期的なゴールと位置づける「脱炭素社会」の実現に向け、企業・団体がチャレンジするイノベーションのアクションを国内外に力強く発信し後押ししていく、新たなイニシアティブ「チャレンジ・ゼロ（チャレンジネット・ゼロカーボンイノベーション）」の『チャレンジ・ゼロ』宣言に賛同するなど、環境への取り組みを積極的に行っています。

三菱重工は、脱炭素化社会の実現への取り組みとして、本発行の資金使途である再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業（風力発電設備/事業・水素発電設備/事業・地熱発電設備/事業）を推進することで環境改善効果をもたらし、国際連合が定める持続可能な開発目標（SDGs）の目標 7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」の達成に貢献します。

本グリーンボンドは、適格性と透明性の確保及び投資家への訴求力向上のため、グリーンボンド原則 2018（ICMA）及び環境省グリーンボンドガイドライン 2020 年版に則して策定されたフレームワークに基づき発行され、世界的な ESG 評価機関であるサステイナリティクスより適合性に関するセカンドパーティ・オピニオンを取得しています。

2006 年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本グリーンボンドの概要)

名	称：三菱重工業株式会社第 36 回無担保社債（社債間限定 同順位特約付）（三菱重工グリーンボンド）（グリーン ボンド）		
発	行	年	限：5 年
発	行		額：250 億円
利			率：0.140%
発	行		日：2020 年 11 月 24 日
償	還		日：2025 年 11 月 21 日
資	金	使	途：再生可能エネルギー／クリーンエネルギー事業（風力 発電設備/事業・水素発電設備/事業・地熱発電設備/事 業）に関連する新規又は既存の事業・プロジェクト
取	得	格	付：AA－（株式会社日本格付研究所）
主	幹		事：三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、SMBC 日興証券株式会社、みずほ証券株式会社、野村證券株 式会社、大和証券株式会社、BofA 証券株式会社
グリーンボンド・ストラクチ：三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社			
ヤリング・エージェント			

- (1) 環境事業に要する資金を調達するために発行する債券。本グリーンボンドは、国際資本市場協会（International Capital Market Association：ICMA）が定義する「グリーンボンド」の特性に従った債券である旨、第三者評価機関による評価を取得している（第三者評価機関：サステナリティクス）
- (2) グリーンボンドのフレームワークの策定及びセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援行う者

以上